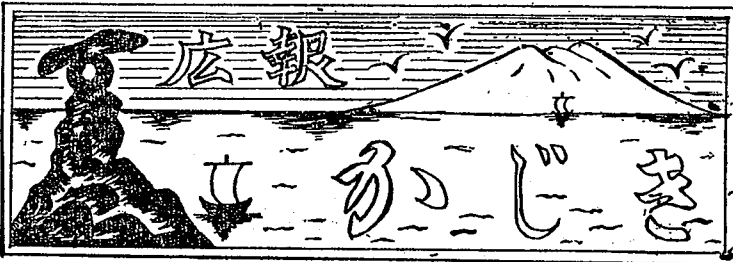


◆……御寄附有難うございました

花城校区婦人会から町公民館日本間に鏡一面を御贈くださいました。心から厚くお礼申し上げます。

参議院議員選挙投票日は7月1日



発行所 鹿兒島県給良部加治木町役場 (一戸一枚配付)
発行人 曾木隆輝 編集人 中元邦夫 印刷所 吉屋印刷所

人口の動き  
—37年(6月1日現在)—

世帯数	5,077戸
人口	19,430人
男	9,127人
女	10,303人

5月中の出生 死亡

出生	7	増減 5			
死亡	3	16			
区別	12	19	31	10	21

# 昭和37年度当初予算成る

三十七年度当初予算案は、概算で一億四千九百九十九万九千九百九十九円と見られる。これは前年度当初予算一億二千五百萬圓に比し、約二億二千四百萬圓の増額となる。この増額は、主に建設費の増加によるもので、その内訳は、土木建設費が約一億二千四百萬圓、社会福祉費が約一億圓、教育費が約一億圓、その他が約一億圓と見られる。

**産業関係**  
産業関係においては、農業が中心となる。前年度に比べて、農産物の生産量は増加しており、これは、天候に恵まれたことによるものである。また、工業関係においても、機械工業や繊維工業が成長しており、これは、国内需要の増加によるものである。

**文化関係**  
文化関係においては、公民館、図書館等の施設が充実している。また、各種文化活動も盛んであり、これは、市民の文化意識の高まりによるものである。さらに、教育関係においても、学校施設の整備が進んでおり、これは、教育の充実によるものである。

**国保国民年金**  
一方国民健康保険や、国民年金の事業も昨年から始めた。これは、国民の健康と生活の安定を図るためのものである。また、国保の負担も軽減されており、これは、国民の負担軽減によるものである。

**新年度への考え方**  
新年度の施政根本的な方針として、国民生活の向上を図ることに重点を置く。これは、国民の生活水準を向上させるためのものである。また、地方自治の充実も重要な課題として掲げられており、これは、地方の発展によるものである。

## 健全財政の確立を図る

昭和二十七年定例第一回町議会は、会期十七日間に亘りさきほど開催された。この議会に三十七年度予算案を上げ、町長は、本年度の施政方針を次のとおり発表した。

**人口動態**  
本町の人口動態で中学の新卒など若い方々が県外就職の傾向が非常に目立っており、これは、県外の生活水準が本町より高いことによるものである。また、出生率は減少傾向にあり、これは、出生率の低下によるものである。

**努力に感謝**  
何れにいたしましても、町民の皆さんが、日進月歩のこの線に遅れぬよう、自己の生活を守り、生活の向上のため努力を怠らぬよう、御協力をお願いいたします。これは、町民の努力によるものである。

**町社会福祉 議会へ**  
一 金五千元也 安藤久江殿 (萩原)  
一 金壹千元也 玉置 功殿 (下新道)  
一 金貳千元也 本中野興二殿 (西反土)  
一 金貳千元也 神田卓男殿 (東諏訪)  
一 金参千元也 佐藤ノブ殿 (本町)  
一 金貳千元也 鏡野 環殿 (辺川)

**町育英資金奨学へ**  
一 金貳千元也 鹿兒島市荒田町 吉野慎殿  
一 金壹千元也 酒匂テール殿 (本町)  
一 金壹千元也 米森慶二殿 (錦江町)

納税に御協力ください

**6月の納税**  
県民税1期分と犬税です(6月30日まで)

**7月の納税**  
固定資産税2期分です(7月31日まで)

今年のごおん祭は、来る七月二日から三日の三日間にわたって開くことに、六月八日の商工会役員会で定まりました。

**今年のごおん祭**  
(諏訪町)

総額一億六千九百九十九万九千九百九十九円

本年の施政方針

健全財政の確立を図る

次の方々が町社会福祉協議会と、育英奨学資金に、香典返しとして寄附をいただきました。御芳情厚くお礼申し上げます。

**町社会福祉 議会へ**  
一 金五千元也 安藤久江殿 (萩原)  
一 金壹千元也 玉置 功殿 (下新道)  
一 金貳千元也 本中野興二殿 (西反土)  
一 金貳千元也 神田卓男殿 (東諏訪)  
一 金参千元也 佐藤ノブ殿 (本町)  
一 金貳千元也 鏡野 環殿 (辺川)

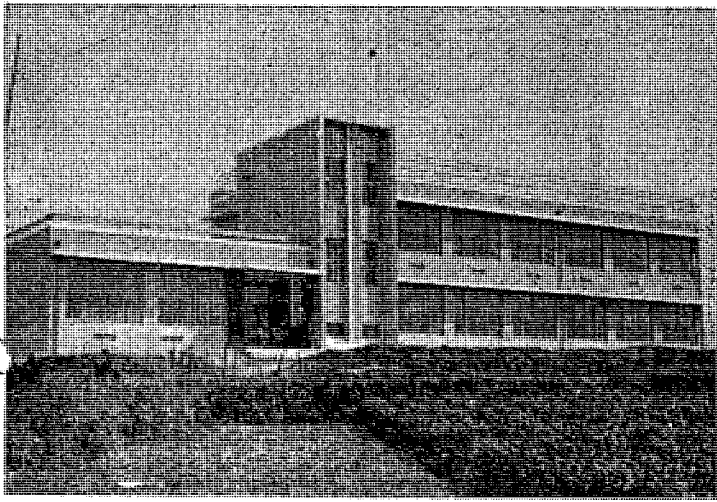
**町育英資金奨学へ**  
一 金貳千元也 鹿兒島市荒田町 吉野慎殿  
一 金壹千元也 酒匂テール殿 (本町)  
一 金壹千元也 米森慶二殿 (錦江町)

### 東三本松に五千坪

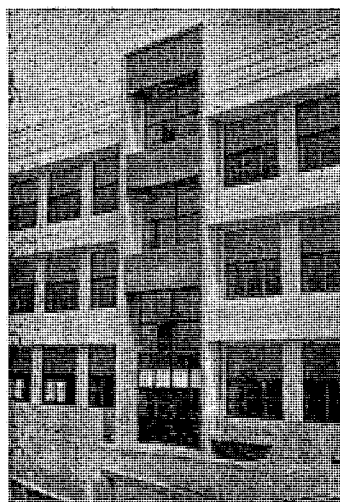
## 計算尺工場設立さまる

（ヘンシ）計算尺といえは、土木関係者は、必携の計算器で世界的に有名だが、先頃から本県下に工場を設けることに話が進められていた。どこにするか問題もあつたが、本町でも是非、加治木に造つてもらいたいと、候補地を、二あげ、お願ひしたところ、最後に、東三本松の町有地を、中心に、約五千坪近くの田畑の譲渡方、地元の御協力を願うことが出来、一方、会社側と町は、たびたび打合せた結果、急に解決し、加治木に決定を見た。右についで、町長は、次のように語つた。

この会社は、東京に本社があり、現在、埼玉県の工場をもつて、年間五、六億円の売上がある。原料は、猛宗竹と、プラスチックで、この工場が本町に進出した事は、町としても、また県としても大変よろこばしい事である。わずかに、二週間か、その間の極めて短い期間で、このような話したが、片付いたのは、一つは、地主の御理解があつたこと、会社側が、こちらの申し分に、全面的に信頼して、話しをぐんぐん進めて下さつた結果であり、少くとも、十頃までには四百坪の建物を



永原中学校校舎



加治木中学校校舎

## 児童扶養手当法が一部改正されました

つくり上げ十一月には、操業出来るようにし、差当り、三十人位いの工員を八人位、来年度は、中学新卒三十人位を、採用、現年度には三百五十人

### 加中永原中完成

昭和三十六年度において、建設中の加治木中学校と、永原中学校は、このほど完成した。

●加治木中学校  
総工事費八、三三五、〇〇〇円、鉄筋コンクリート三階建てで、計画一棟三階建六三八坪の内第一期工事として一四〇坪（四六二平方米）を、三十六年十月、十一日中島建設

が着工し、三十七年三月三十一日完成。

●永原中学校総工事費一一、二六一、〇〇〇円、鉄筋コンクリート二階建てで、二〇〇坪（六六〇、七平方米）を、三十六年同月同日松田組が着工し、三十七年同月同日完成した。

本年一月一日から児童扶養手当法が施行されていることは、御承知のとおりであり、すが、この新しい社会保証の一環として、発足した制度が、国民年金法等の一部改正に伴い、又新しく改正になりましたのでお知らせいたします。

### 児童扶養手当はどの様な状態の児童に対して支給されるか

- 一、父母が婚姻（婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻関係と同様な事情にある場合を含む。）を解消した
- 二、父が死亡している
- 三、父が重度の廃疾の状態にある
- 四、父の生死が明らかでない
- 五、父が児童を引き続き一年以上遺棄している
- 六、父が法令によつて引き続き一年以上拘禁されている
- 七、婚姻（婚姻の届出をしていないが事実上婚姻関係と同様な事情にある場合を含む。）によらないで生れた児童などで父がない

### 支給制限

手当は、支給要件に該当するものが前年において、十五万円に、その児童一人につき三万円を加算した額をこえる所得を有したときは、その年の五月から翌年の四月までは支給しない。

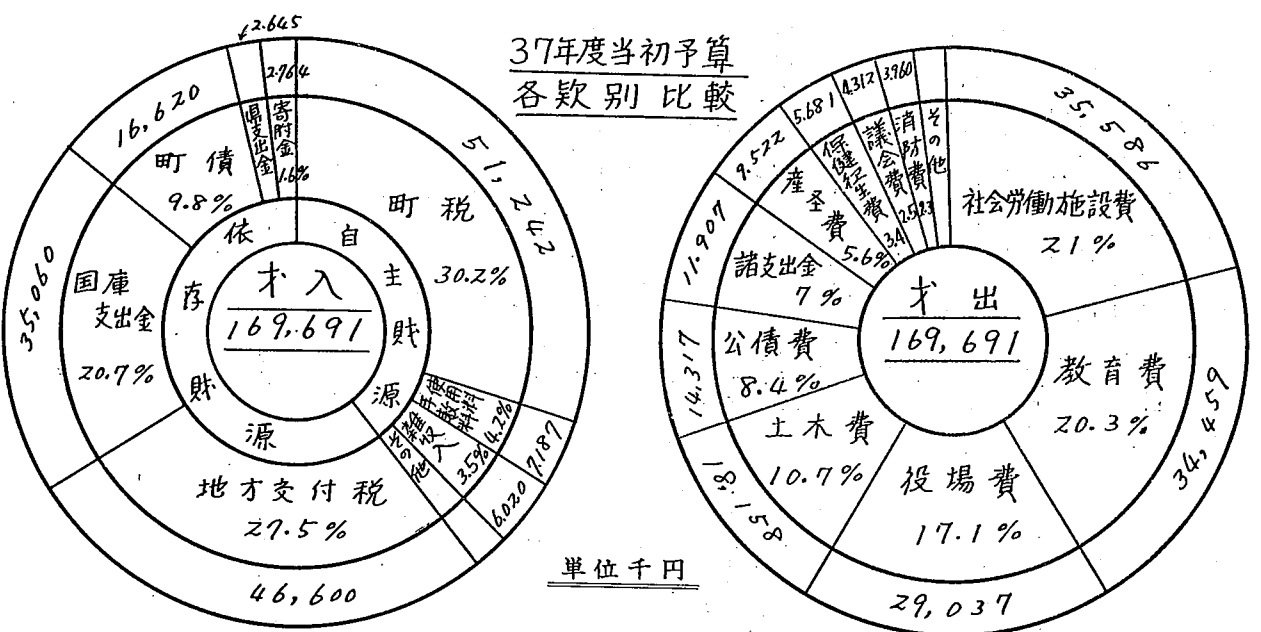
六月五日現在本町において認定請求書の受付状況は、左のとおり。

- 一、受付件数 五四件
- 二、県に達達 五四件
- 一、認定件数 二六件（証書を交付し既に支給済み）
- 一、未認定 二七件
- 一、却下になつた者、一件、なお、未認定の分については、本省からの証書の交付の都合もあり、早急にはいえないが、なるべく早く交付するように努力すると、県当局で話されている。認定は、遅れても一月にさかのぼつて支給されます。

### 人権擁護委員に 日野良兼氏発令

前委員、坂口立志さんが、病氣のため辞任欠員中であつた当町人権擁護委員に、去る五月一日付で、法務省から、日野良兼さんが発令されました。村八分、暴力、その他離婚縁等で、人権侵害に關係のあるものについて、いつても相談に応じていただくことになつていきます。住所 飯屋町二六九番地

### 37年度当初予算 各款別比較



町内少年相撲大会成績

五月三日、天神菅原神社境内で行なわれ、十六チームが参加した。

団体戦  
優勝 須崎岩原チーム  
準優勝 木田内場チーム  
三位 諏訪チーム

個人戦  
三位 永原西チーム  
優勝 山神博一 新原チーム  
準優勝 中村茂和 須崎岩原チーム  
三位 山下忍 春日チーム  
向江俊一 永原東チーム

町商工会総会

昭和三十七年度町商工会は、去る五月一日加治木荘でひらき、昭和三十六年度決算と三十七年度予算を承認、役員改選を行ない、次のとおり決めました。

会長 大山綱男  
副会長 山元辰左門  
同 江川正雄

固定資産評価委員に 寺師秀雄氏

去る六月十一日開会された町議会で、任期満了の固定資産審査評価委員に、寺師秀雄氏が再び選ばれました。

町内少年野球大会成績

五月十九日、二十日加中グラウンドで行なわれ、十二チームが参加した。

優勝 錦江町チーム  
準優勝 垂之口チーム  
最高殊勲選手賞（福元時計店賞）大迫久男 錦江町チーム  
殊勲賞（町長賞）松元幸男  
敢闘賞（議長賞）上荒磯 巧  
（教育長賞）浜崎 洋  
（警察署長賞）小田原孝一  
打撃賞（体協賞）小田原孝一  
美技賞（婦人会賞）塚本則明  
なお、優勝旗は今年から警察署長賞として優勝チームに贈られ、最高殊勲選手賞は、蒲生田とおりの福元時計店から置時計（昨年はカブ）を個人に寄贈されたものです。

町衛生協会員

昭和三十七年度町衛生協会員総会は、六月五日午後一時から町公民館日本間で開き役員を次のとおり決めました。

会長 入佐俊興（港町）  
副会長 垂内武夫（垂之口）  
同 築瀬 憲（岩原西）

### 参議院議員選挙迫る 公明選挙をおし進めよう

清い票 積もつてよい国よ政治

参議院議員の選挙は、七月一日に行なわれることになりました。

参議院の役員は、衆議院といつしよになつて、国会で大切な働きをします。つまり、衆議院のあやまりを正したり、ゆきすぎを押さえたりして、私達のしあわせな生活をつくるために活躍しています。

この一票をどう買おうか、さそうまいこの標語のとおり、公明選挙をみんなの力で、おし進めねばなりません。

従来、本町の投票成績は、あまりいい方でなく、県下でも下位クラスです。過去行なわれた各種選挙の投票成績は次のとおりで、わたくしたちはもつとこのことについて、各種団体や職場で話し合い活動を重ね、一人残らず投票すべきだと思ひます。

△町長選挙(33・12・5)  
七九・〇一%

△県知事、県議会議員選挙

### 教育雑感

### よろこびも 悲しみも

町教育長 市来 朴

富貴なれば続々と門に来たり、貧賤なれば親せきも離れり。とあるが、万事好都合の時、招かなくとも人は来る。馴れなれしく、親切らしく言い寄つて来る。それが一たび失敗して、貧乏にならなると、私たちの道を切つたように、顔さえ見せない。

途中で行きあつても、横を向いて通るという風、軽薄憎むべきではあるが、人情のほしくなつた現世はすべてそうしたものと言へます。であるから、自分に対する他人の親切、不親切は、自分が艱難にあい、逆境に立ち、困窮に陥つた際に於て、初めて能く知ることが出来る。此方が得

すんだかと孫もたすねる投票日



馬場のぼる

△町議会議員選挙  
34・4・30  
八六・五六%

△参議院議員選挙  
(34・6・2)  
六三・六八%

△衆議院議員選挙  
(35・11・20)  
七二・一一%

### みろく親子会

### 県から表彰をうく

五月十五日、県下優良少年、少女団体の表彰式が県会議事堂第二会議室で挙行されましたが、県内四三〇団体



読書にはげむ弥勒のよい子たち

- △加治木町弥勒部落親子会
- △出水市東大原親子会
- △鹿屋市古前城町親子会
- △高山町福留町親子会
- △松山町振武館剣道子ども会
- △東吉町向江東親子会
- △東串良町千鳥子ども会

### 表彰状

加治木町弥勒部落親子会 あなたがたの会は、親子の読書活動を盛んにし、家での学習やみんものきまりがよく守られ、りつぱな子どもが会が運営されていますので、これを表彰しさらに今後の発展を期待します。

昭和三十七年五月十五日

鹿児島県教育委員会  
鹿児島県社会福祉協議会  
鹿児島県PTA協議会

### 郵便局から 四つのお願

表札を出していない家、出してあつても姓だけのもの、古くて読めないもの等のため、外務員は、配達に大変苦労しています。

### 保育所日誌から

町立保育所は、約六十名の子どもたちをあずかっています。保護さんたちの苦勞は大へんだ。毎日、一日中の、各児童の保育状況給食の献立など、町長に報告されている。その中から、五月中の或る日の日誌を拾つてみた。

「某日」日に増し、鉄に興味をもつて来る。見る間に紙屑の山が出来、いくら紙があつても足りない。泣いた人、六名、そそう四回。

「某日」朝女児のみ三名泣く、内一名は、父親が送つて来られ、受取つたが、お話しにホトよわつたが、お帰りの頃は別人のように、上ぎげんでよかつた。

「某日」水たまりで、男児三名洋服を次々によごして、シヤツまでぬれ、着替えさせた。お洗濯してやる。

郵便受箱もぜひ備付けていただきたいと思ひます。配達の際、留守でも受箱があれば普通郵便物は、確実に配達されることとなります。

### 交通安全都市を宣言 急ぐ一秒ケガ一生

加治木町は、町民が十分の注意と協力をなし、その地域内から交通事故を出さぬよう万全を期する。去る三月十七日の町議会で、交通安全都市を宣言した歩行者も、運転者も、一秒を急ぐとも一生のケガに心掛けたいものです。

### 本年度町婦人会 常任委員紹介

- 池端 ヒデ (町連合会長)
- 中山 貴美 (町副会長)
- 川上 ひろ ( )
- 池田 てる ( )
- 橋本 きみ (桜城会長)
- 古閑 ツノ (副会長)
- 永田 ふじ子 ( )
- 坂元 重子 (錦江会長)
- 玉江 ハル (副会長)
- 増田 文江 ( )
- 榊山 ミヨ子 (竜門会長)
- 井手向 サヨ子 (副会長)
- 新名 セツ ( )
- 東 ミツ子 (永原会長)
- 蓬原 ヘツ子 (副会長)
- 小宮路 ナミ子 (鎮守会長)
- 横山 文子 (副会長)
- 山下とみ子 (中野会長)
- 上村 ふじえ (副会長)

### 嘱託員組合役員

- 昭和三十七年度 町嘱託員組合総会は、去る5月30日午後一時から町公民館安国寺分館で開き、本年度の役員を次のとおり決めました。
- 会長 入佐俊興 (港町)
- 副会長 築瀬 憲 (岩原西)
- 同 精松栄之助 (井手向)

国民年金法の一部が改正されました

(4.28公布施行) こんどの改正は、保険料の免除を受けた場合にも保険料を納めたときと同様に、

国民年金の保険料は 毎月かがさず納めましょう

一、保険料を免除された期間除かれた期間たのめ免除された額を二分の一額を国が負担します。これにより、例えば二年間保

固定資産の

近江、畑、山林、宅地の 実態調査を行ないます

固定資産の評価については、昭和三十六年三月固定資産評価制度調査会より政府に対し、改善策について答申が行なわれたのであります。

1. 価格について認識の統一 固定資産税の課税の基礎となる固定資産の価格は、適正な時価とされているが、この場合の時価とは、正常な条件のもとにおける取引

引上げられました。(三十七年五月分より) 六、いままでは、全一制度に一定の期間(二十年が普通)がないと公的年金は受けられませんが、これが、これからは一定の期間があればその期間が、バラバラの制度であつても、つながらね年金(通算年金)が貰えることになりました。

免除申請と未納保険料 一、申請による免除の手続きは、毎年しなければなりません。生活が苦しくて、三十七年分の免除申請をされる人は、本年七月二十五日まで、手帳、印鑑を必ずもつて役場国民年金係で手続きして下さい。

納入奨励規則により、奨励金を交付します。 一、三十六年度分は、右の規則がなかったため、検認率被保険者数、その他により次の方が個人表彰されました。田中、樋山、山崎、竹下、貴島、柴、西沙入、中沙入、南沙入、立元義男、北園政次郎、西沙入、長井利基、有川一二三、岩原東、築瀬、増田正信、郡山正信、横山武男、入佐俊興

おとなの七つの誓い 一、青少年保護育成条例施行、よい映画を選んで見せませし。よい本を選んで読ませませし。よい木を選んで読ませませし。深夜の一人歩きをさせないようにはしませし。あぶない刃物をもたせないようにはしませし。麻薬、睡眠薬の恐ろしさを願ひませし。

国民年金係よりお願い 国民年金以外の制度は、給料から、掛金を差引かれる仕組みになつていまして、未納になる心配はいりませんが、国民年金の場合は、ウツカリして、掛金を納めるのを忘れて

行政苦情相談協力委員に 前山新内氏を委嘱 鹿児島行政監査局では、行政苦情相談所を設けて、国や県、市を通じて行なわれる国の行政について苦情相談を受け付けております。

部落嘱託員に 辞令交付

- 蒲生田 佐藤慶蔵 七九
端山 川原春香 一三八
西諏訪 川上 貢 九〇
東諏訪 渡辺愛之 一〇四
小陣 川崎正邦 六四
楠森満男 一四一
宮永栄治 一四七
神村守義 四二五
上別府豊 二八
富永ふじ子 一九
岩沢美智子 一三

のびゆく児童を みんなで守ろう

教えませし。 質屋、古物商には、子どもだけで行かせないようにせしませし。 青少年の純潔を尊重せしませし。 この子にも、この子にも、よい環境を、 家庭で、地域で、職場のなかで、みんなが手をとり、話し合い、子ども達のしあわせを願ひませし。

季節保育所ひらく

- △小山田公民館(六月二六日)
△永原公民館(六月二〇日)
△鎮守公民館(六月二一日)
△高井田公民館(六月二六日)
△中福良説教所(六月二六日)
△岩原公民館(六月二六日)
△永原公民館(六月二〇日)
△鎮守公民館(六月二一日)
△高井田公民館(六月二六日)

反土、町地区 (二六部落)

- 柳田 黒田伊熊 一八三
於里 河野進 八二
札立 湯田健三 四〇
萩原 橋木次郎 一〇五
西反土後 東脇三男 四七
西反土前 荒武盛衛 二五
西反土前 福元フミエ 三〇
竹下 貴島 栄 四六
田中 樋山義治 一四六
垂ノ口 垂内武夫 一〇〇
新町 新原勇之助 一〇六
今町 西田吉二 二八
天神 梅田 操 八九
反土黒川 入佐俊興 一九四

日本山下場地区 (三部落)

- 日本山黒川中神國治 三八
里ノ上 前田新吉 一七
里ノ下 吉村清規 三三
木田地区 (二一部落)
田中慶次 八三
田中秀雄 七五
額川スミ 六〇
川畑スミ 三六
立元義男 三六
北園政次郎 二八
西沙入 長井利基 五三
西沙入 有川一二三 一〇〇
西沙入 岩原東 一五〇
岩原西 築瀬 一五〇
浜村 増田正信 七〇
須崎 郡山正信 一五九
療養所 横山武男 五八
弥勒 横山武男 五八

日本上山場地区 (四部落)

- 新中 飯屋園辰哉 四七
西ノ原 沢崎豊二 三三
中福良後 中原正治 四六
中福良東 中森利男 二九
楠園西 下楠園正昭 二一
楠園東 中馬直志 四二
上木田 穂森次兵衛 七三
高井田 竹之内正男 三三

西別府地区 (五部落)

- 限原下 西村初美 一九
丸岡 中森一男 一八
限原上 限原秋男 三三
永原 内村 勤 六九
提水流 中村正紀 一三
市野々 山口純弘 三六
下獄 橋木 栄 三六
西難場 川野照夫 一七
東難場 坂元満義 一七
菅浦谷上 鶴 正男 三二
菅浦谷下 上村 実 四七
桑 迫 福森 繁 三四
曲 田 岩崎 清 一六
桃木野 桃木野清晴 二四

刃川地区 (四部落)

- 刃川下 小宮路新 四五
刃川中 上瀬清高 二五
鶴之原 横山輝男 二九
市野 外園 貢 一五

反土、町地区 (二六部落)

- 柳田 黒田伊熊 一八三
於里 河野進 八二
札立 湯田健三 四〇
萩原 橋木次郎 一〇五
西反土後 東脇三男 四七
西反土前 荒武盛衛 二五
西反土前 福元フミエ 三〇
竹下 貴島 栄 四六
田中 樋山義治 一四六
垂ノ口 垂内武夫 一〇〇
新町 新原勇之助 一〇六
今町 西田吉二 二八
天神 梅田 操 八九
反土黒川 入佐俊興 一九四

日本山下場地区 (三部落)

- 日本山黒川中神國治 三八
里ノ上 前田新吉 一七
里ノ下 吉村清規 三三
木田地区 (二一部落)
田中慶次 八三
田中秀雄 七五
額川スミ 六〇
川畑スミ 三六
立元義男 三六
北園政次郎 二八
西沙入 長井利基 五三
西沙入 有川一二三 一〇〇
西沙入 岩原東 一五〇
岩原西 築瀬 一五〇
浜村 増田正信 七〇
須崎 郡山正信 一五九
療養所 横山武男 五八
弥勒 横山武男 五八

日本上山場地区 (四部落)

- 新中 飯屋園辰哉 四七
西ノ原 沢崎豊二 三三
中福良後 中原正治 四六
中福良東 中森利男 二九
楠園西 下楠園正昭 二一
楠園東 中馬直志 四二
上木田 穂森次兵衛 七三
高井田 竹之内正男 三三

西別府地区 (五部落)

- 限原下 西村初美 一九
丸岡 中森一男 一八
限原上 限原秋男 三三
永原 内村 勤 六九
提水流 中村正紀 一三
市野々 山口純弘 三六
下獄 橋木 栄 三六
西難場 川野照夫 一七
東難場 坂元満義 一七
菅浦谷上 鶴 正男 三二
菅浦谷下 上村 実 四七
桑 迫 福森 繁 三四
曲 田 岩崎 清 一六
桃木野 桃木野清晴 二四

刃川地区 (四部落)

- 刃川下 小宮路新 四五
刃川中 上瀬清高 二五
鶴之原 横山輝男 二九
市野 外園 貢 一五



季節保育所ひらく して働いてもらうために、今年も町婦人会の協力を得て町内六ヶ所ですべて保育所をひらくことになりました。ここに場所が次のとおりです。